

栗田助教，電気学会全国大会 で優秀論文発表賞を受賞

2014年3月26日

電子情報部門の栗田伸幸助教が，一般社団法人電気学会から優秀論文発表賞を受賞しました。優秀論文発表賞は学術振興助成により運営され，電気学会の全国大会・部門大会・連合大会・研究会において，電気に関する学術・技術の発展向上を担うに相応しい，質の高い論文を発表した35歳以下の若手研究者に贈られる賞です。2013年3月に名古屋大学で開催された平成25年電気学会全国大会における「磁気浮上型水力発電機の発電特性」の講演に対し，セッション座長推薦・論文委員会での投票を経て，同賞を受賞することとなりました。

近年，再生可能エネルギーの積極的な開発が求められています。そこで栗田助教は「磁気浮上技術を適用した水力発電機の開発」に取り組んでいます。この磁気浮上型水力発電機は，発電機出力電圧により全ての磁気浮上制御に関する全ての電力をまかなうため，スイッチングコンバータにより昇圧・降圧し，制御器・変位センサ・PWMアンプに利用します。電気学会全国大会における講演では，外部電源を用いて回転軸を磁気浮上制御し，圧縮空気により水車を回転させ，発電機出力電圧とスイッチングコンバータの出力電圧をまとめた結果が報告されました。

なお，今回の表彰は1,428件の発表より39件採択されたうちの一つです。授賞式は2014年3月19日に愛媛大学で開催された平成26年電気学会全国大会にて行なわれ，表彰状と副賞（メダル）が贈られました。

写真：受賞者 栗田助教(左)，表彰状と副賞(右)

